

令和6年度環境とやま県民会議 事業報告

1 活動方針及び統一活動

私たちは、廃棄物などの身近な問題から、地球温暖化やプラスチックごみによる海洋汚染などの地球的規模の問題に至るまで、複雑かつ多様な環境問題に直面している。これらの環境問題に適切に対応し、本県の素晴らしい環境を次の世代に引き継ぐためには、私たち一人ひとりが、様々な環境問題を自分の問題として捉え、自らライフスタイルや事業活動のあり方を見直すなど、問題の解決に向けて行動を始め、その輪を広げていくことが求められている。

こうしたことから、当県民会議は、「脱炭素・循環型社会づくりの推進」及び「環境教育・環境保全活動の推進」を柱とし、県民、事業者、民間団体、行政が情報を共有し、一体となって各事業を展開した。

とりわけ、富山県が目標とする「水と緑に恵まれた環境が保全・創造され、人と自然が共生しながら、持続可能でウェルビーイング（真の幸せ）が向上した社会」の実現に向けて、再生可能エネルギーの導入促進を積極的に展開するとともに、統一活動として「デコ活」の普及啓発や「とやまエコ・ストア制度」の普及・拡大、とやま環境フェアなど各種イベントの開催・参加を推進し、県民のエコライフの定着・拡大を図った。

また、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、「富山県カーボンニュートラル戦略」に基づく取組みの推進やプラスチック資源循環、食品ロス削減をはじめとする資源の効率的な利用の促進など、持続可能な社会の実現に向けた取組みを推進した。

2 事業内容

（1）脱炭素・循環型社会づくりの推進

＜脱炭素社会づくり＞

① カーボンニュートラルの普及促進

② 新ア デコ活参加促進キャンペーン事業

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、（公財）とやま環境財団（デコ活ローカル）
- ・実施時期 令和6年10月～令和7年3月
- ・内 容 脱炭素につながる新しい豊かな暮らし「デコ活」の普及啓発のためのキャンペーンを展開した。

イ 省エネ家電・機器買い換え促進による生活支援事業

- ・主 催 富山県
- ・実施時期 令和6年2月1日（木）～7月31日（水）
- ・内 容 省エネ性能の高い家電・機器への買い換えを促進した。

ウ 再生可能エネルギー導入促進事業

- ・主 催 富山県、（公財）とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・実施時期 令和6年5月7日（火）～11月29日（金）
- ・内 容 自家消費型太陽光発電設備や再エネ熱利用設備の導入を支援した。

エ EV導入促進事業

- ・主 催 富山県
- ・実施時期 通年
- ・内 容 EV（電気自動車）の普及拡大に向けて、個人・事業者によるEV導入や、商業施設等での充電設備の導入を支援した。

オ カーボンニュートラル戦略推進事業

- ・主 催 富山県
- ・実施時期 令和6年9月～10月
- ・内 容 カーボンニュートラルの理解を深める子ども向けの体験や家庭でできる取組みが学べるブースを企画・制作し、県や市町村が主催する環境関係イベント等に出展した。

カ 「とやまカーボンニュートラルポータル」を活用した情報発信

- ・主 催 富山県、市町村
- ・実施時期 通年
- ・内 容 県と15市町村が共同で運営するポータルサイトにおいて、県民や事業者を対象に、カーボンニュートラルの具体的な取組み方法や国・県内自治体の支援制度等を情報発信した。

キ カーボンニュートラル推進月間の展開

- ・主 催 富山県、市町村、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・実施時期 令和6年10月
- ・内 容 カーボンニュートラル推進月間（10月）に、富山県全域で統一的な啓発を実施し、カーボンニュートラルの実現に向けた機運の醸成を図った。

ク カーボンニュートラル地域リーダー育成講座の開催

- ・主 催 富山県
- ・実施時期 令和6年10月～令和7年2月
- ・内 容 カーボンニュートラルの基本や実際の取組事例を学びながら、地域の活性化につながるカーボンニュートラルに取り組む人材を育成する講座を開催した。

（新）ケ 中小企業カーボンニュートラルチャレンジ事業

- ・主 催 富山県
- ・実施時期 令和7年3月
- ・内 容 温室効果ガス排出量の可視化及び削減支援サービスの普及促進を行った。

② エコドライブ推進運動の実施

ア エコドライブの推進

- ・主 催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・実施時期 通年
- ・内 容 二酸化炭素排出量の削減だけでなく、燃費向上や交通安全にもつながるエコドライブについて継続した実践を促すため、各種イベント等において普及啓発を行った。
併せて、エコドライブとやま推進協議会が募集しているエコドライブ宣言に協力し、エコドライブ実践者の拡大を図った。

イ エコドライブ実践促進事業

- ・主 催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・実施時期 通年
- ・内 容 エコドライブ実践の一層の定着・拡大を図るため、とやま環境フェア会場における体験会の開催など、気軽にエコドライブを体験できるシミュレーターを活用した普及啓発を行った。

③ 「新しい生活様式」を踏まえた公共交通利用をテーマとした県民運動への参加

- ・主 催 富山県公共交通利用促進協議会
- ・内 容 鉄軌道の施設整備及びバス路線の運航維持等を支援するなど、公共交通の維持活性化・利用促進に向けた取り組みを推進した。

④ 宅配便の「再配達削減」の普及促進

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・実施時期 随時
- ・内 容 近年の通信販売市場の拡大に伴い、二酸化炭素排出量の増加などで社会問題になっている宅配便の再配達を削減するため、職場受取事業所の募集・認定や啓発イベントの実施など県民、事業者、行政が連携協力した取組みを推進した。

⑤ 脱炭素型ライフスタイルの普及促進

⑥ ^新ア デコ活参加促進キャンペーン事業（再掲）

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団（デコ活ローカル）
- ・実施時期 令和6年10月～令和7年3月
- ・内 容 脱炭素につながる新しい豊かな暮らし「デコ活」の普及啓発のためのキャンペーンを展開した。

⑥ クールビズ、ウォームビズの実践及び啓発

- ・主 催 環境省、環境とやま県民会議
- ・実施時期 夏季、冬季
- ・内 容 環境とやま県民会議構成団体では、日々の気温や仕事環境等に応じて、適正な温度での空調使用と各自の判断による快適で働きやすい服装を促す「クールビズ」、「ウォームビズ」を実践するとともに、これらの取り組みを実践するとともに県民等への普及啓発を行った。

⑦ 企業の脱炭素化の推進

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団(エコアクション21地域事務局、富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・実施時期 通年
- ・内 容 中小企業向けの環境マネジメントシステムである「エコアクション21」制度の普及を図るとともに企業の脱炭素化を推進するためのセミナー等の開催、省エネルギー診断等の脱炭素経営の促進を図った。

＜循環型社会づくり＞

① とやまエコ・ストア制度普及・拡大事業

- ・主 催 とやまエコ・ストア連絡協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 とやまエコ・ストア制度登録事業者が県民と協働で行う環境配慮行動を促進するとともに、新たに「エコ・ストア」としてレジ袋削減、3R、プラスチックトレイの削減・転換等に取り組む事業者を引き続き募集・登録し、その活動を支援するなど、「とやまエコ・ストア制度」のさらなる普及・拡大を図り、県民のエコライフの定着・拡大を推進した。

② 食ロスゼロアクション推進事業

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 食品ロス削減につながる取り組みの動画を制作し、SNS等を活用した普及啓発を実施した。

③ いつでも、どこでもリサイクル促進事業

- ・主 催 富山県
- ・内 容 民間事業者等による資源物の回収拠点を認定し、住民に啓発することで、資源物回収量のさらなる増加を促進し、再生利用率の向上を図った。

④ プラスチック資源循環促進事業

- ・主 催 富山県
- ・内 容 プラスチックの排出事業者・リサイクル業者・製造事業者のマッチングサイト「Re+とやま(リプラスとやま)」や有識者の派遣等により、焼却・埋立からリサイクルへの転換を目指す事業者を支持するとともに、

資源循環に向けたセミナーを開催した。

⑤ とやま環境フェアの開催

- ・主 催 とやま環境フェア2024開催委員会（富山県、富山市、環境とやま県民会議、（公財）とやま環境財団）
- ・実施時期 令和6年10月12日（土）、13日（日）（3R推進月間）
- ・開催場所 テクノホール（富山産業展示館）
- ・内 容 水と緑に恵まれた富山県の豊かな環境を守るとともに、よりよい環境を創造するため、循環型・脱炭素社会や自然共生等をテーマとした各種展示や実演、発表等を行い、環境保全について啓発を行った。

⑥ 環境とやま県民会議啓発イベントの開催

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議
- ・実施時期 令和6年10月12日（土）（とやま環境フェア2024と併催）
- ・内 容 脱炭素社会づくり・循環型社会づくりを推進するため、功労者の表彰やデコ活に関する周知・啓発イベントを開催した。

（2）環境教育・環境保全活動の推進

① エコライフ・イベントの実施

- ・主 催 県内10市、富山県、（公財）とやま環境財団
- ・内 容 地域での取組みを推進するため、県内10市において、地球温暖化防止やごみゼロなどのテーマに関する、「エコライフ・イベント」を実施した。また、構成団体ではブース出展等に積極的に参加し、エコライフの普及を図った。

② 環境保全・環境教育に関する活動支援事業

- ・主 催 富山県、（公財）とやま環境財団
- ・内 容 （公財）とやま環境財団に環境保全相談室を設置することで各種相談に対応するとともに、県内で行われている様々な環境保全・環境教育活動について、ウェブサイト「エコノワとやま」を通じた情報を発信し、環境保全・環境教育活動の拡大を図った。

また、エコライフの実践を促進するための普及啓発資機材の整備により活動支援の充実を図った。

（3）③ とやま環境未来チャレンジ事業

- ・主 催 富山県、（公財）とやま環境財団
- ・内 容 10歳の児童が、地球温暖化や3Rの推進、食品ロス等の環境問題を学び、目標を決めて家族とともに家庭での対策を実践・自己評価する取組みを通じて、脱炭素につながる新しい生活スタイル「デコ活」の促進を図った。

また、教材のデジタル化に向けたアプリの制作を行った。

④ 地下水の守り人の活動支援

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 地下水保全活動を担う人材を「地下水の守り人」として登録するとともに、その活動を支援するため、講習会の開催や活動情報の発信、資機材の貸出しなどを実施した。
- ・登録者数 143名(令和7年3月末現在)

⑤ スターウォッチング推進事業

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・実施時期 令和6年8月2日(金)
- ・内 容 大気汚染のない清澄な大気の大切さや街の明かりによる光害について理解を深めるとともに、身近な環境保全活動の実践を推進するため、富岩運河環水公園で星空観察会を開催した。

⑥ はじめてのエコライフ教室の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 幼児期から(家族ぐるみで)エコライフの理解・実践・定着を図ることを目的として、幼稚園・保育所等に地球温暖化防止活動推進員を講師として派遣し授業を行う「はじめてのエコライフ教室」を実施した。

(3) その他

各構成団体の取組みの把握

- ・主 催 事務局((公財)とやま環境財団)
- ・内 容 各構成団体が県民会議とは別に独自で実施している取組み・事業(脱炭素・循環型社会づくり、環境教育・環境保全活動)について、照会調査を実施して把握し、県民会議や県民と情報共有するとともに、今後の県民会議の事業計画検討の資料とした。